

## 入居企業紹介 その222

SICに入居されている企業様をご紹介します。

## “レーザの真価を発揮する技術集団として!”



研究所メンバー  
後列左から松浦さん、海老根さん、笠原さん  
前列左から吉井CGO、上瀧CEO、川森CTO

## 【入居者プロフィール】

株式会社Quantec  
代表取締役CEO 上瀧 英郎(じょうたき ひでお)

横浜出身の上瀧さんはIT系ベンチャーの営業やデバイス開発、アパレル企業の海外事務所の立ち上げ、半導体分野向け装置の営業など、様々な業種・職種で経験を重ねてきました。特に、製品や事業開発に携わることが多く、新しい“モノ”や“コト”を作り出し、始めるための仕事に就くことが多く、それが自分らしく、楽しい仕事だったと振り返ります。目下、Quantec社のCEOとして営業や管理のほか、総勢10名のスタッフが業務を行うための環境整備まで、全方位にわたって奔走中ですが、Quantec社の始動にワクワク止まらないとのこと。

車が好きで、走りや安全性、快適性などがそれぞれに損なわれずに設計・製造されているかを、実際に運転することで確かめます。知的欲求に火が付くとのもり込んでしまう上瀧さんは、家庭では一男二女の父親として家族との時間も大切にしています。

## 【Quantec社の設立】

レーザ技術は産業分野での普及が進み、また、さまざまな種類のレーザ加工機が開発されていますが、価格も様々で、数千万円を超えるレーザ加工システムもあります。上瀧さんがレーザ加工関連の会社で営業活動に従事していた頃、若いエンジニアたちがユーザーからの要望に持ち前の知識で、加工を施す素材やその形状、加工の内容や精度に応じてレー



会社設立前の研究所(個人宅の和室にて)

ザ種類やシステム構成、加工条件などを検討している姿に心を動かされました。常に新しい技術ニーズに対応しなければならない営業担当として、「レーザ技術の可能性がさらに引き出せれば業界がさらに活気を帯びてくるのではないかと考えていた上瀧さん。エンジニアの皆さんとレーザへの熱い思いが重って意気投合し、それぞれの得意分野を持つメンバーが揃ったことでQuantec社の設立に至りました。

## 【Quantec社の事業内容】

電子デバイスや電動化の進む自動車関連を中心にモーター、バッテリー、ワイヤーハーネスなどの各種部品も目まぐるしく進化し、改良され続ける中、ものづくりの現場では切断、除去、溶接といった多様な加工が行われ、品質と生産性が求められます。

Quantec社は「プロセス起点のソリューション提案」をスローガンに、レーザプロセス(加工)を軸としたシステムインテグレータとして、技術革新に挑戦する顧客の加工課題をサポート。レーザプロセスのスペシャリストとしてレーザパラメータに関する豊富な知見で、顧客に最適な提案を行います。例えば、パワー半導体等の材料に採用されているSiCやGaN等の材料の加工には超短パルス(フェムト秒<sup>\*1</sup>、ピコ秒<sup>\*2</sup>)レーザと呼ばれる発振器での加工が必須とされています。しかし超短パルスレーザは高価でランニングコストも高く、設備導入の足かせになっています。Quantec社の提案は低コスト運用が可能なナノ秒<sup>\*3</sup>レーザを採用したシステムで導入費用を大幅に低減しつつ、超短パルスレーザよりも高品質な加工を実現し、ナノ秒レーザのメリットを活かし生産性向上の実現もしており、半導体や車載分野などからの引き合いも増えています。

\*1フェムト秒…1×10<sup>-15</sup>秒 \*2ピコ秒…1×10<sup>-12</sup>秒 \*3ナノ秒…1×10<sup>-9</sup>秒

## 【これからの目標】

Quantec社のフィロソフィーは“我々はレーザの力を信じている”です。「こんな加工はできないか?」、「もっと品質や生産性を向上させられないか?」といった開発現場の課題に、Quantec社のメンバーの知見を集結してより多くの顧客をサポートし、あらゆる分野の技術革新に貢献していきます。

株式会社Quantec 研究所

(本社)東京都町田市中町一丁目4番2号

SIC-1 Startup Lab.1310 号室

URL:https://quantec.jp/

※ホームページ内にお問い合わせフォームがあります。

Quantec

# 入居企業トピックス

1月の新聞掲載記事紹介(1月28日時点)

メディアに紹介された企業をご紹介します。

ご紹介する記事はSICに掲載していますので、ご覧ください。  
またメディアに掲載された場合、スタッフに教えていただくと幸いです。

令和6年12月号 エピトマップ株式会社 NEW LEADER  
—連載バイオの旗手たち 動物と人間の双方に効果的なアレルギーの根本的治療薬を開発—

1月15日 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞  
—中小経営者から見るフリーランス新法—

1月15日 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞  
—新横浜に拠点、横浜・川崎で本格展開—

1月24日 株式会社カイゼン・マイスター 神奈川新聞  
—ビジネススウェーブ 改善活動を通じて人材育成を支援—

## SIC-3へのお知らせ

### 全館停電のお知らせ

建物電気設備(キュービクル)の法定年次点検実施に伴い、以下の時間は停電となります。

**SIC3 令和7年3月1日(土)9:00-11:00**

点検作業日が土曜日となるため、作業日までに各部屋のサーバー等電源への停電対応をお願いします。

### 消防訓練のお知らせ

SIC-3では、3月上旬に消防訓練を予定しています。詳細は後日お知らせします。

## 専門家をご紹介します。

SICでは常駐しているIMのほか、様々な分野の専門家と連携して企業支援を行っています。ご紹介する奥村さんの専門領域は経営全般、組織人財、資金調達です。



### 奥村 直樹 湘南労務経営 代表

公的中小企業支援機関の現場で10年以上にわたり多種多様な企業の創業支援・経営改善支援に従事し、独立開業。「人を活かし、人を育てる経営」の実現をサポートするため、経営が分かる社会保険労務士・労務が分かる中小企業診断士として活躍する。

### ひとこと

経営者は将来を考える時間不足や孤独感、意思決定の重圧に悩みがちです。起業家支援者との対話は課題整理やビジョン実現に役立ちます。私を含め支援者が身近にいるSICの環境を最大限活かし、共に課題解決と事業成長に取り組みませんか。

## 編集後記

上瀧さんは、スマホアプリ「Coffee Inc 2」で経営のヒントを得たそう。このゲームは「会社の成長のためには、経営者も成長しなければならない」というテーマがあり、開発者はゲームを簡単にするための要望があっても、経営者のため、あえて理不尽さや非効率さを貫いたとか。悩んだときは、理念に戻るのも大切だと感じました。(佐藤)

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ:https://www.sic-sagamihara.jp  
発行元:株式会社さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail:koho@sic-sagamihara.jp

## SIC空室情報 (令和7年2月3日 現在) ※お気軽に稲垣・大谷までお問い合わせください

	部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	○セミラボB(31.5㎡)	1 <sup>*2</sup>	108,240円
	○スモールオフィスA(23.6㎡)	1 <sup>*2</sup>	86,570円
	○スモールオフィスB(17.3㎡)	2	70,620円
	<b>NEW</b> ○スモールドライラボ(17.3㎡)	4 <sup>*1</sup>	70,620円

\*1 3月以降入居可能、\*2 5月以降入居可能  
最新の情報はHPをご確認ください。

**スモールドライラボ**…ドライな研究開発需要に応じた新しい部屋のタイプになります。  
帯電防止・耐薬品性のフロアタイルを採用、リレーコンセント設置(室内最大40A)

## SIC-1大規模修繕工事のお知らせ

**工期 令和6年12月16日(月)～令和7年3月14日(金)**



2月は各階隔て板・鉄部分の塗装工事を行います。臭気の発生が想定されるため、窓は可能な限り閉めていただきますようお願いいたします。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお祈いします。

## 産学連携・交流イベント「Meet up in AGU 2024@SAGAMIHARA」にて発表します。

「Meet up in AGU」は青山学院大学の技術シーズ・研究活動を周知し、マッチングのきっかけを提供する産学連携・交流イベントです。

今回は大学との連携による中小企業のDX化支援事例として、弊社の金澤信義(事業創造部イノベーション推進課長)が発表します。また当日予定されている分科会「地域連携」コースでは、相模原市のDX関連事業による大学と中小企業との連携事例の発表があります。

大学との産学連携により新技術・新製品開発や技術の高度化、新分野進出を目指している企業の皆様にもおすすめです。是非、ご参加ください。

【日 時】 令和7年2月20日(木) 13:30～18:00

【会 場】 青山学院大学 相模原キャンパスE棟  
(相模原市中央区淵野辺5-10-1)

【参加費】 無料

【お問い合わせ】 青山学院大学 統合研究機構  
リエゾンセンター

お申込みはこちら

